

みなさんと力あわせ 「町民こそ主人公の政治」を

西澤議員から昨年11月20日付けで北川豊昭町長あてに提出していた「当面する町政運営と町民の緊急要望にかかわる要請書」に対する回答が12月24日に寄せられました。なお、12月議会で取り上げた項目と「町政運営」の部分は今回省略します。

、ふるさと交流村計画について

1、山崎前町長が発表した「ふるさと交流村計画」(コンビニ、直売所、レストラン、シャワー室、緑のカフェ、広場など)をいったん白紙に戻すことが出発点になると考えます。

答：ふるさと交流村計画は直売所の建設を行う。

2、北川町長の公約である「内容・規模を見直し」について、「何をどのように見直すか」との方針を策定するにあたって、住民意向調査を実施することが一番ふさわしいと考えます。

答：住民意識調査は行わないが、生産者、消費者が直売所に何を求めているか等のアンケートを行う。

3、直売所充実の必要性を明確にした上で、設置場所・規模・生

産体制・経営責任の範囲など町民合意が得られる内容とすること。

答：ご指摘のとおりと考える。

4、「ふるさと交流村計画運営推進員」制度は見直し、「離職を余儀なくされた者」という緊急雇用対策の趣旨に沿って甲良町民の雇用拡大を重視すること。

答：見直しの考えで検討している。

5、ふるさと交流村計画運営協議会の議題を、「見直し方針」に沿って整理し、再構築すること。そして、同協議会の協議結果を毎回町民に公表すること。

答：見直しの考えで検討している。(12月議会答弁は「一旦解消」と)

6、金屋の用地の本造成だけは着工するとの話が出ていますが、これは容認できません。「見直し」の内容も定まっていない時期に「従来路線の延長」という既成事実となりかねず、町民の期待に背くことにもなりかねません。また、方針が定まらない事業へのムダな支出になる懸念が指摘されます。今後明らかになるであろう「見直し方針」が確定するまで「ふるさと交流村計画」にかかわる税金の投入は行わないこと。

答：用地取得したことから造成工事は一旦完了する。必要な事業は行うがコスト縮減と補助金活用を見据え検討している。

7、「見直し」にかかわる作業スケジュールと内容を町民に公表すること。

答：平成22年度当初予算計画にあわせスケジュールを検討している。

、町民のくらしと営業をまもる緊急要望

2、健康と命を大切にす立場から国民健康保険の資格証は原則発行しない立場とし、本人・家族の病気治療時には短期保険証の対応とすること。

答：資格証の発行については、自主納付を促すためと生活相談等の機会を持つことを目的に実施している。税の公平負担から分割誓約を促し、短期保険証の発行については、家族の生活状況等を勘案し対応する。

5、生活保護相談を気軽に出来るように充実すること。

答：受付窓口は保健福祉課で、随時相談の受付をしている。現状として休日、夜間でも必要に応じて対応している。

6、町営住宅建て替え計画(公営住宅ストック計画)の再開を再開に向けての作業順序を明らかにすること。

答：公営住宅ストック計画は、現在凍結している。

老朽化した住宅の取り壊しに着手するまでの期間限定を条件にした入居を認め、緊急に公募すること。

建て替え計画が定まらない場合でも入居期限を設けての入

新年がはじまりました。今年もよろしくお願ひ致します。
日頃からのご支援、誠にありがとうございます。
昨年は国民の一票で自民公明政権を退場に追いやりました。ところが、発足した鳩山内閣は、普天間基地移転をめぐる迷走、財源不安、扶養控除廃止・縮小による増税、来年度予算の担当大臣の突然の辞任など混迷を深めています。そのうえ、鳩山首相自身の政治資金疑惑、小沢一郎幹事長の巨額のカネ・土地取得疑惑が新たな展開となり、民主党中心の政権に対する失望感が急速に広がっています。日本政治の根本を正すには何が必要なのか 国民・町民の切実な願いから出発して「国民が真に主人公となる政治」への模索・探究が深く始まっているのではないのでしょうか。
深刻な貧困、派遣切り、医療崩壊(ほつかい)、米軍基地問題などの国民を苦しめる大もとは「大企業中心」「軍事同盟絶対」の2つの異常があると日本共産党は指摘し、「2つの異常」から抜け出す道筋を明らかにしています。
私は、甲良町政において独自課題に取り組みつつ、苦しみの根源である国政における「2つの異常」から抜け出すことが不可欠だと思っています。今夏には参議院選挙がたたかわれます。どんなときでも「国民・町民こそ主人公の政治」を貫く日本共産党の躍進めざして全力をつくします。みなさんのご支援を心からお願ひ致します。
二〇一〇年一月 日本共産党町議会議員 西澤伸明

居募集を行うこと。

答：()とも)現在のところ入居募集の計画はない。



甲良民報

2010年1月10日 438号
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel.Fax38-4949

メール siga-koura463@jcp-nobuaki.com ホームページ：グーグル「西澤伸明」で検索

日本共産党の見解を紹介します。